

調査実践報告

中国甘肅省岷県花儿会調査報告2010年

Investigation Report of Taomin Hua'er, 2010

板垣俊一*・戚 曉萍**・張 鑫***

ITAGAKI Shun'ichi, Qi xiǎo píng, ZHANG Xi

In the northwestern part of China, the people sing improvised lyrics called Hua'er at the festival of the song. The place leaving a form of simplest Hua'er is Minxian in southern Gansu. The song is called Taomin Hua'er. In the festival of Hua'er, unknown man and woman exchanges a song of the love each other. This resembles an ancient festival called "Utagaki" in Japan. We investigated the festival in Minxian to clarify the impromptu creation process of the song. This report compiled the text of the lyrics which we obtained in the investigation.

キーワード：中国民間歌謡 即興歌謡 洮岷花儿 歌垣 対歌

Key words: Chinese folk song, Improvised lyrics, The festival of the song

1 調査概要

甘肅省南部の岷県にある二郎山はこの地方の聖山である。毎年旧暦5月15～17日に祭礼が行なわれ、周辺地域から大勢の参詣客が訪れる。二郎山は岷県市街地（市街地人口約5万人）に接してその南側に聳える山で、町の通りからすぐ登り口となっている。確認してはいないが、麓からの高さは見たところ三、四百メートルと思われる。しかし登山道は急峻で登るのは難儀である。『肥前国風土記』逸文に載る「霰降る 杵島が岳を 険しみと 草取りかねて 妹が手を取る」という古代歌謡が連想されるように、まさしく木や草につかまりながら、あるいはまた何も生えていないところは足場を選んで慎重に登って行かなければならない。

*新潟県立大学国際地域学部 (sitagaki@unii.ac.jp)

**甘肅省社会科学院文化研究所

***西安外国語大学東方言語文化学院

少し登った中腹に、観音殿・子孫殿と称される建物があり、祭礼の日にはここに多くの人々が参詣する。観音殿は観音菩薩を安置する仏教的な堂舎であるが、子孫殿は『封神演義』の登場人物である趙公明の妹の一人を主神として祀り、そのほか二郎神など民間信仰の神々を合祀する社殿で、その名のとおり子宝や子孫繁栄を祈るための廟である。当日は幼い児を連れた参詣者も多く見かけた。

なお、山の登り口には小さなラマ教寺院もあって、この寺の由来については次のような話が伝えられている。あるとき旅の途中のラマ僧三人が雨に降られ、山の崖にあった洞窟に雨宿りしていたが、悲運にも崖が崩れて生き埋めになってしまった。これを哀れんだ土地の人々が彼らの供養のためにここに寺院を建立した、という話である（岷県在住の郷土史研究家、景生魁氏 2010.6.26 談）。二郎山の神が水の神だということを考えれば、ラマ僧は水神に献げられた犠牲であったと見ることもできるだろう。現在この寺院の縁日では鶏の首を刎ねてその血を地面に撒く供儀が行なわれている。



写真1 二郎山の中腹 2010.6.27
(左上の建物が建設中の十八湫神の御旅所)

この祭礼の性格の一つは、子孫殿の参詣に見られるように子宝信仰である。またもう一つの性格としては、近在に分布する十八社の湫神の参集に見られるように祈雨信仰である。湫神は水の神である。二郎山を囲むように分布する湫神の神輿は、以前この祭礼の日には山の麓にあった南寺にすべて集合して山へ登ったものだという。しかし今年やってきたのは、城郊郷南川村の忠簡公と梅川郷杏林村の漢代忠良の、わずかに二神のみであった。現在中腹には鉄筋で十八神の御旅所が建造中である。地元の人々はこれを二郎山観光化事業の一環だと説明してくれた。

この祭礼では花儿会が盛大に行なわれ、野外において幾組もの男女の恋歌が交わされる点で、この地方の歌謡文化の中心的な場となっている。今回筆者たちは、花儿会で歌われる対歌歌謡を取材するために、旧暦5月17日（今年2010年の陽暦では6月28日にあたる）前後に二郎山を訪れたが、大変残念なことに天気が下り坂で、参詣客の転落など思わぬ事故が起きるおそれがあるという理由から、山の登り口にはテープが張られ、警察によって通行禁止の措置がとられていた。二郎山における本年のもっとも盛大な花儿会は行なわれなかったの

である。しかし山へ登れなかった歌い手たちは市街地の歩道のあちこちで対唱の輪を作っていた。花儿会の会場では対歌する男女の周りを人々が輪になって取り囲む。聴衆が歌い手を取り巻いてその対唱に熱心に耳を傾ける光景はじつに「歌垣」の原義を思わせる（写真2参照）。つまり歌い手を取り囲んで人垣を作る輪があちらこちらに生まれるからである。あるいは日本古代の歌垣も、対歌する男女の周りを人々が取り巻くことからの意味ではなかったか、と思わせる情景である。花儿会は、歌を巧みにうたえる歌手だけでなく、その歌を鑑賞する多くの聴衆によって支えられているのである。



写真2 麻石頭花儿会場 2010.6.26
(林の中で歌い手の周りに人垣ができる)

ここに掲載した花儿詩句の事例は、二郎山の祭礼にやってきた近隣の男女が洮河左岸で行なった対唱によるものである。具体的には次のとおりであった。

日時：2010年6月26日午後（対唱時間は約50分）

場所：岷県の麻石頭（洮河左岸の河川敷）

この地は岷縣市街から洮河を渡り、上流に少し遡った吊り橋のある左岸の草地である。「麻石頭」は礫岩のことで、洮河左岸に拳大の石を含む砂利をコンクリートで固めたような幾つかの礫岩が見られ、それがそのまま地名になっている。人家は無い。

歌い手：姉妹の女性二人。漢族。三十代位で、岷縣市街から20kmほど洮河上流を遡った村からやってきた人たちである。妹が熱心に歌い、姉はときおり妹の演唱に句をはさむ程度だった（歌詞のうち（姐）とある部分がそれにあたる）。プライバシーを守るために名前は確認していない。ただし二人は今回歌詞の文字化を担当した戚曉萍の知り合いであり、ここに花儿対歌を最初から最後まで収録できたのも彼女たちのお蔭である。

四十代ぐらいと思われる男性の歌い手のほうはまったく素性が分からないが、採録歌詞の凡例に述べるように歌い方が会場である洮河左岸近くの北小路地域の特性を持っていることから、その地域の住民である可能性が高い。採録した歌には字余りの句が多い。

なお、頬に手を当てる仕草は男女ともにしていない。

音 源：作為的な録音でないために、収録した花儿対唱音声の中には、人々の話し声、携帯電話の音（周りの聴衆が携帯電話で録音した対唱を再生する声など）、子どもが吹く玩具の音、その他会場のさまざまな音声が入っている。録音はDVカメラを使用した。

本論に詩句を掲載した歌手たちの写真はプライバシーを考慮して掲載していないが、洮岷花儿の対唱の様子を理解してもらうために別の会場で撮影した写



写真3 二郎山における高齢者たちの対歌 2010.6.27

（歌手を取り囲む良き鑑賞者たちの笑顔に注目してほしい。なお、歌手の特定ができないように演唱者の目の部分にモザイクを入れて加工してある。）

2 採録詩句小考

（1）今回の歌手が使用している衬句の傾向

三句体歌詞の各聯冒頭で慣例的に歌われる句で、対歌の実質的な内容とは無関係な句を、ここでは衬句（襯句）と呼んでおくことにする。¹これを今回の採録資料から拾い上げると、表1のようになる。

表1 衬句一覧

1 女 水打磨了自滚呢	2 男 骡子驮了细香了
3 女 山里那边路岔了	4 男 门上园儿呢美如画
5 女 镰刀割了草细细	6 男 手拿斧头剁红桦
7 女 剪子铰了纸样了	8 男 园里牡丹园里开
9 女 红铜烟锅蓝丝穗	10 男 —
11 女 青稞出穗朝天呢	12 男 —
13 女 西大二寨佛爷庙	14 男 莲花山的山道里／二两缸么一两缸
15 女 —	16 男 园子角儿里线木香
17 女 佛爷殿前刺木香	18 男 缸二两四两缸／西江桥的王铁嘴
19 女 —	20 男 大麻打下一根绳

21 女 —	22 男 镰刀割了细细草／枇杷开花满岭儿红
23 女 镰刀割了细叶莽	24 男 红心柳的一张杈
25 女 —	26 男 —
27 女 尕笼笼里提韭菜	28 男 天上星星红星星
29 女 —	30 男 大麻打了一根绳
31 女 镰刀割了细叶麻	32 男 —
33 女 洮州杨家土儿北山	34 男 红心柳的三张杈
35 女 剪子要较鞋样呢	36 男 尕手巾包冰糖
37 女 —	38 男 大麻打下一条绳
39 女 —	40 男 镢头挖了楞干了
41 女 镰刀割下蔓着呢	42 男 三升胡麻一榨油
43 女 二细草帽打软呢	44 男 麻把刺儿上雀的挂
45 女 —	46 男 风刮杨柳树摆呢／ <u>飘洋过海韩湘子</u>
47 女 洮河沿上水涝洼	48 男 石头打了老鸦了
49 女 —	50 男 青石碌朱扎场边
51 女 剪子铰了纸样着	52 男 白杨条框谷子门儿
53 女 枇杷雕了谷子门儿	54 男 斧头剁红桦着呢／ <u>琉璃瓦上晒花椒</u>
55 女 河里淌的烂木头	56 男 手拿斧头剁红桦
57 女 剪子铰了纸样了	58 男 大麻打下一根绳
59 女 十里五里蜘蛛网	60 男 —
61 女 木匠做下柜着呢	62 男 —
63 女 —	64 男 —

○表中女性歌手が多用している衬句例

(1) 剪子铰了…変化形(剪子要较)を含めて計4回使用。

剪子铰了纸样了(2回) 剪子要较鞋样呢 剪子铰了纸样着

(2) 镰刀割了…変化形(镰刀割下)を含めて計4回使用。

镰刀割了草细细 镰刀割了细叶莽 镰刀割了细叶麻

镰刀割下蔓着呢

○表中男性歌手が多用している衬句例

(3) 大麻打下…変化形(大麻打了)を含めて計4回使用。

大麻打下一根绳(2回) 大麻打了一根绳 大麻打下一条绳

(4) 手拿斧头剁红桦…変化形を含めて計3回使用。

手拿斧头剁红桦(2回) 斧头剁红桦着呢

これらに類似した衬句を、前稿²に収録した別の会場(岷県秦許郷馬燁侖)における異なる歌手たちの対歌事例から拾うと次のようになる。

(1) 剪子铰了…無し

(2) 镰刀割了…計5回使用。

镰刀割了细叶麻（男女1回ずつ使用） 镰刀割了绿芹菜（男）

镰刀割了红叶材（男） 镰刀割了一根材（男）

(3) 大麻打下…麻绳扎了条帚了（男）となっている。

(4) 手拿斧头剁…すべて「斧头剁了」という形で計4回使用。

斧头剁了李树材（女） 斧头剁了水白杨（男）

斧头剁了桦材了（男） 斧头剁了香杆了（女）

これら衬句の使用には個人差もあるだろうが、少なくとも2例の資料からは、「镰刀割了○○○」と「斧头剁了○○○」の変化形がよく使われていることが知れる。

また、55女の「场里大麻长成柳」という比喻表現が、前稿では5女の衬句として初句に置かれていることは、歌い手の脳裏に衬句を含む慣用句のストックがあって、その中からそのときの文脈にふさわしい句が臨機応変に選び取られた結果だと考えられる。

さらに、29女「月亮亮么月亮黑」は次句「月亮底里裏浪来」と意味上のつながりがあるので衬句一覧から除いてあるが、前稿資料では「月亮出来筛子大」の衬句があることから、これも衬句として用いられる場合があるものと考えられる。このほかに下線を引いた8男「：园里牡丹园里开」、9女「红铜烟锅蓝丝穗」、46男「飘洋过海韩湘子」、54男「琉璃瓦上晒花椒」なども前後の語句との意味上のつながりがある衬句である。これらを衬句とすることは定義上の矛盾ではあるが、少なくとも8男、9女、46男の例は、一聯の韻を決める点では衬句と同じ働きをしている。

(2) 収録対歌の比喻表現

本対歌で使用されている比喻表現は次のようなものである。³

5女：蜜蜂が新しい巣を作る（蜜蜂采新巢）＝もとの恋人から離れる

6男：込み入った木の枝（七股八棵杈）＝心が乱れる

8男：蜜蜂が花を飛び回る（蜜蜂缠着来）＝纏わり付く

9女：飾りの青い房（蓝丝穗）＝恋人（暗喩）

10男：黄色い菊の花（一朵黄菊花）＝相手の女性

11女：きれいな牡丹（俊花牡丹）＝相手の男性

12男：いっぱい実ったりんご（一树苹果）＝相手の女性

13女：いっぱい実った白葡萄（一树白葡萄）＝相手の男性

14男：いっぱい実った葡萄（一樹葡萄）＝相手の女性

15女：ポプラ（白楊）＝相手の男性

16男：桜んぼの木（櫻桃樹）＝相手の女性

17女：一番刈りの葱（頭茬葱）＝相手の男性

18男：鶏肉（小鸡肉）＝相手の女性

同：水分を多く含んだ西瓜（西瓜一包水）＝同

21女：幾皿も料理を運ぶ（端了一盘盘儿）＝うまい話ばかりする

46男：いっぱい実った蚕豆（大豆结了籽）＝相手の女性

同：二畝の薬草畑（当归的二亩地）＝大切に扱うもの

48男：頭が苦瓜になる（脑成苦瓜）＝頭を悩ませるほど辛い

49女：馬が走り回る（跑马）＝無駄に行動する

51女：こぬか雨（毛毛雨）＝男女が一緒になる

55女：川が枯れて石が朽ちる（河干石头朽）＝あり得ないこと

同：山の中の子鹿が犬になる（山里鹿羔变成狗）＝あり得ないこと

同：脱穀広場の大麻が柳になる（场里大麻长成柳）＝あり得ないこと

56男：込み入った木の枝（七股八棵杈）＝心が乱れる（6男に既出）

60男：車に載せきれない話（汽车拉下一车话）＝話が沢山ある

この中には花儿会で慣用的に用いられている比喩表現も多くあると思われるが、それを確かめるにはさらに多くの花儿対歌事例を収集する必要があるだろう。特徴としてあげられるのは、10聯から18聯までの比喩表現で、お互いに相手を讃美する部分に花や果実に言寄せた比喩が多用されていることである。この部分が対唱全体における一つの過程であることを示している。

（3）対歌の進行過程

対唱全体における上記のような比喩表現の分布からうかがえることは、対歌の進行過程のあり方である。すなわち、対唱開始の口説きから、お互いの賛美へ、そして愛情の深化・架空の物語へと続き、終わり近くなると別れの辛さを歌い、最後は離別で終わる、というまとまりを持った進行過程を見ることができる。すなわち全体は次の五つに区分できるだろう。

1. 口説き
2. お互いの賛美……比喩が多く用いられる
3. 情愛の深化（架空の物語）……物語性を持つ
4. 別れの辛さ
5. 別れ

お互いに愛情を深め合った男女は、男性の主導のもとに、駆け落ちし、見知らぬ土地で二人で生きてゆくことを考えるが、女性は今現在の夫や子どものことを考えて心が揺れる。虚実入り交じった対歌の進行に見物人たちは引き込まれるのである。そしてまた対唱する男女はここであたかも悲劇的な戯曲のヒーローとヒロインに扮する。それは歌手たちにとって演唱の醍醐味であろう。既婚男女が花儿を歌う行為を不倫と決めつけてはいけない。女性は恋に悩むヒロインを演じつつも、一方で現実の家庭生活における夫婦親子の愛情を再認識しているのである。

-
- 1 取材歌詞中国語原文資料の凡例では、一句中で繰り返される前句の末尾三字、またそのほか演唱上補助的に付加される語句を称して衬句と呼んでいるが、ここではそれらを便宜的に〈衬詞〉と呼ぶことにする。また衬詞を含む実際に歌われた語句全体を〈歌詞〉、それに対して衬詞を除く七字（音）を基本とする正式歌詞を〈詩句〉、一人の歌手が続けて歌う三句前後の歌詞のまとまりは〈聯〉と呼ぶことにする。
 - 2 「中国甘肅省の民衆歌謡“洮岷花儿”について— 東アジアの歌謡文化再考 —」（『県立新潟女子短大研究紀要』第46集、2009）
 - 3 このほか39女および42男に出てくる次の句は諺と思われる。
谁家富着没喝油（金持ちの家だって油をそのまま飲むことはない）
さらに地方劇のセリフを使った句もあり、歌手の対歌詩句構成法の考察も今後の課題である。

〔資料〕

洮岷花儿取材歌詞 (翻字原文と日本語訳)

一 凡例 (戚 晓萍)

以下花儿词例1-64采集于中国甘肃省岷县2010年农历五月十五的“麻石头花儿会”上一组完整的男女对唱。其花儿类型属于洮岷花儿中的南路派、当地人称之为“阿欧怜儿”。

(一)

在本组对唱中、女歌手的演唱程式是：于每段段首先唱一声长长的“哎”或者“哎欧”这样的呼唤语。然后是称呼语、如例1第①句括号部分。接下来是演唱的正式词句、自第二句开始、每个词句前面通常重复前一词句末尾三字作衬句、如②句、③句括号部分。下文所附64个词例只记录每首花儿的正式词句、省略歌手在演唱中出现的呼唤语、称呼语、衬句。

例 1

①哎--

(远亲戚)

砂石河滩磨一盘、

② (磨一盘)

我有心连你做一天、

③ (做一天)

我把心病上的话说完。

在本组对唱中、男歌手的演唱程式比女歌手更简化。通常只演唱正式词句、往往省略段首呼唤语、称呼语、词句之间的衬句。如例 2 所示。

例 2

①尕火盆里炭没黑、

②你像鹁鸽往出飞、

③三里五里看一回。

(二)

阿欧怜儿的基本句式是每句七个字、每段三句。而本组对歌中男歌手的唱法展现出的是岷县北小路的花儿特色：每句字数更繁复、在一句唱词中添加了大量的衬词及当地言语习惯下语言结构附加成份。每段句数也常有超过三句的情况出现、甚至有连着唱几段的情况。例 3 把一句歌词中正词之外的内容以横线加以标识、下文64个词例与此类同。

例 3

- ①红心柳的三张杈、
②我也向观众给你说一挂、
③只要你成了我把你引着马坞的新寺下。

(三)

下文64个词例、歌手在对唱时采用的语言均为岷县方言。

例 4

木匠做下柜着呢、

做读作 zù

下读作 hà

呢读作 ni

二 对唱歌詞

(漢語普通語表記)

- 1.女:水打磨了自滚呢、(姐)
人没心了自哄呢、(姐)
把我心思不懂呢。
- 2.男:骡子驮了细香了、
把不见的亲戚遇上了、
把屋里去的路忘了。
- 3.女:山里那边路岔了、
人家把好的行下了、
把我一眼不瞭了。
- 4.男:门上园儿呢美如画、
我把新行的冤家气逗下、
我把实心给你一个拿。
- 5.女:镰刀割了草细细、
就合蜜蜂采新巢、
旧巢门儿上不照了。
- 6.男:手拿斧头剁红桦、
唱花儿行里没实话、
我的心思七股八棵杈、
你把实心扯着阿一下。
- 7.女:剪子铰了纸样了、
把心扯着你下了。
- 8.男:园里牡丹园里开、
我今儿个把整园的酸刺给你栽、
就像蜜蜂缠着来。
- 9.女:红铜烟锅蓝丝穗、
你有穗子紧着戴、(姐)
你把过时的旧花儿耍使坏。

(日本語訳)

- 1 水力で動く引き臼が自動的に動いている、(姉)
やる気がなくて自分をごまかしている、(姉)
私の気持ちをわかってくれない。
- 2 驢馬が線香を背負っている、
久しぶりに親戚のあなたに会った、
家に帰るのを忘れてしまった。
- 3 山の向こうで道を間違えてしまった、
私よりいい女ができて、
私に目もくれなくなった。
- 4 家の前にある菜園は絵のように美しい、
僕は新しく知り合った君を怒らせたのか、
僕の心には君しかないよ。
- 5 鎌で細草を刈り取る、
蜜蜂が新しい巣を作ったように、
古い巣には戻らない。
- 6 斧を持って紅樺を切る、
君が嘘をつくのではないかと心配する、
僕の心は込み入った木の枝のように乱れている、
君のまごころはどいつのところにあるのか。
- 7 ハサミで靴の紙型を切る、
私のまごころはあなたのところにある。
- 8 花園の牡丹が咲いている、
僕は君のために花園一杯に酸刺を植えてあげる、
蜜蜂が酸刺を飛び回るように僕は君に纏わりつく。
- 9 銅製のパイプに青いふさが下がっている、
ふさが手に入るとすぐ使う、(姉)
流行遅れの古いものを壊さないように。

- 10.男:你像一朵黄菊花、
挖着我的床底下、
一晚夕不见想死恰。
- 11.女:青稞出穗朝天呢、
你合俊花牡丹呢、
长得稀不好看呢、
迟早把你折下呢。
- 12.男:你像一树苹果呢、
长得多不零落呢、
我到十里路上闻着呢、
迟呢早呢摘脱呢。
- 13.女:西大二寨佛爷庙、
你合一树白葡萄、
看着看着叫人摘了。
- 14.男:莲花山的山道里、
你像一树葡萄呢、
长得多不零落呢、
谁走呢么谁瞭呢、
我迟呢早呢摘了呢。
二两缸么一两缸、
你给下饮料的情不薄、
你的心术太好了、
你给下的饮料我喝不了。
- 15.女:前山魂影儿赛白杨 (姐)
生的零落长的旺、
长着万刮石崖上、 (姐)
我的手短够不上。
- 16.男:园子角儿里线木香、
你合樱桃树一样、
樱桃孕是味道香。
- 17.女:佛爷殿前刺木香、
你连头荏葱一样、
颜色又俊味道香。
- 18.男:缸二两四两缸、
你连小鸡肉一样、
有心拣着象牙筷子上、
就是不吃瞭起香。
西江桥的王铁嘴、
你们三个像西瓜一包水、
像是我的催命鬼。
- 19.女:麻布裤子连的档、
难道你想谁没想、
谁把年轻人没当。
- 20.男:大麻打下一根绳、
我想你人多说不成、
若要不信你问神、
神他不哄唱花儿人。
- 10 君は黄色い菊の花のようだ、
その花を折ってベッドの下に置いておく、
一晚会わなければやりきれないほど君が恋しい。
- 11 裸麦の穂が空に向いている、
あなたはきれいな牡丹の花のようだ、
なかなかハンサムでいい格好をしている、
いつかあなたを折って手に入れる。
- 12 君はいっぱい実ったりんごのようだ、
たくさんあってほんとうに綺麗に見える、
十里離れた所でもその香りが漂ってくる、
いつか君を摘み取って手に入れよう。
- 13 西寨と大寨にある神社、
あなたはいっぱい実った白葡萄のようだ、
見る見るうちに人に摘み取られてしまった。
- 14 蓮花山の山道、
君はいっぱい実った葡萄のようだ、
実がたくさんあってほんとうにきれいだ、
通りがかりの人々は皆君に目が行く、
僕はいつかきっと君を摘み取ろう。
二両入りの油壺と一両入りの油壺、
飲み物をほんとうにありがとう、
君は心が優しい人だ、
いただいたジュースは飲むのが惜しい。⁽⁴⁾
- 15 前の山に住むあなたはボプラのようだ、 (姉)
格好よくて元気いっぱいだ、
削ったような山崖に聳えたっている、 (姉)
私の手ではとても届かない。⁽⁵⁾
- 16 庭の隅にある線木香、⁽⁶⁾
君は桜んぼの木のように、
桜んぼは小さいけれども味がとてもいい。
- 17 神社の前にある刺木香、⁽⁷⁾
あなたは一番刈りの葱のようだ、
色も綺麗だし味もいい。
- 18 油壺二両入りと四両入りの油壺、
君は鶏肉のようだ、
象牙のお箸で一つ挟もうとする、
食わずに見るだけでもおいしそうでよだれが出る。
西江橋の王鉄嘴、⁽⁸⁾
君たち三人は水分いっぱいの西瓜のようだ、
君たちに魅了されて僕の命は取られそうだ。⁽⁹⁾
- 19 お尻の出ない麻のズボンをはいたあなたはもう大人だ、
あなたの思っていることは私だって思わないことはない、
誰だって若い時があったさ。
- 20 麻で縄を一本なう、
君が好きだけでも周りに人が多いのでとても口出せない、
僕の言葉が信じられなかったら神さまに聞いてみな、
神さまは花儿を歌う人を騙さないから。

21. 女: 你把实心没当一点点儿、
你把情话端了一盘盘儿。
22. 男: 镰刀割了细细草、
我黑了一晚夕没睡倒、
我在我们院里跑、
婆娘问我我咋个、
我说我给驴驴儿给点草。
枇杷开花满岭儿红、
我连你先前说下在外头耍惹人、

你也给我说说三言四声话、
你去了给我把手机号留下。
这会儿新社会的政策好、
我要是心急了给你打骚扰、
打个骚扰你知道、
要叫你们娃家老子算帐了。
23. 女: 镰刀割了细叶芥、
我没有手机你知道。
24. 男: 红心柳的一张杈、
没有手机了把信发、
把信发成双挂号、
早夕不到晚夕到、
你想下我的我会知道。
25. 女: 我日天想你物事忙、
我夜里想你夜又长、 (姐)
我黑了想你没瞌睡、
我手拿长香院里跪、
白霜落了一脊背、 (姐)
我这么辛苦为谁来。
26. 男: 我提了锄头挖楞干、
我一直挖到你们房后檐、
月亮亮着没敢挖、
梯子搭着你们房上了、
三挖四挖天亮了、
你们娃家老子骂上了。
27. 女: 孕笼笼里提韭菜、
你要来了来小心、
我们男人把你拉住活抽筋
28. 男: 天上星星红星宿、
今晚你们窗子连门都要扣、
我过来的没时候、
你们男人稀不赞、
你阿么叫我来跳狗洞。
29. 女: 月亮亮么月亮黑、
月亮底里耍浪来。
- 21 あなたは私の本当の気持ちをまともに受け入れていない、
旨い話ばかり盛ったお皿を幾皿も私に持ってくる。
- 22 鎌で細細草を刈り取る、
僕は一晩中一睡もしなかった、
庭の中を行ったり来たりしてうろついていた、
うちの女房に「どうしたの」と聞かれて、
驢馬に飼料をやっているとごまかした。
枇杷の花が咲いて嶺を赤く染めた、
私たちの関係を隠しておこうと前は二人で約束したではないか、
僕にも一言二言何か喋ってくれよ、
帰る前に君の携帯番号を教えてくれよ。
今は新しい社会で政策がいいから、
君が恋しくて落ちつかない時は電話する、
電話で僕の気持ちを伝える、
旦那さんに知られて夫婦関係を崩すのは悪いけれども。
- 23 鎌で細葉芥を刈り取った、
携帯なんかないよ、知っているでしょう。
- 24 紅心柳で作られた二股のフォーク、
携帯を持っていないなら手紙をくれ、
配達証明付きの書き留めにすれば、
朝届かなくても夕方は届くはず、
そうすれば君が僕を思う気持ちが伝わる。
- 25 昼間は貴方のことを思っても何も手に着かない、
夜はあなたが恋しくて長く感じられる、 (姉)
夜中でもあなたを思っ⁽¹⁰⁾て目が冴えてくる、
私は長い線香を持って庭の中に跪いた、
白い霜が背中いっぱい降りた、 (姉)
私は誰のためにこんな苦勞をしたのやら。
- 26 僕は鋤を手にして段々畑でがむしゃらに土掘る、
とうとう君の家の後ろまで掘りつづけた、
月が明るかったから掘るのをやめた、
君の家に梯子をかけておいた、
また掘っているうちに夜が明けてしまった、
旦那さんに罵られた。
- 27 小さい籠に蕪を入れて提げる、
あなたが来るときは注意なさい、
うちの人はあなたの筋を引き抜くほど懲らしめる。
- 28 空の星 紅星宿、
今晚は君の家の窓もドアも閉めないでおきなさい、
僕がいつ行くかはまだ決まってい⁽¹²⁾ないから、
旦那さんはきつい人だ、
どうして僕を犬用の穴から入れるのか。
- 29 月が盈ちたり欠けたりする、
月の明るい日は遊びに来ちゃだめよ。

- 30.男:大麻打了一根绳、
我连你们娃家老子不通声、
你把你们娃家老子问去呢、
你要跟上唱花儿人
 到蒙古去下呢、
 去了你就害怕、
 实心出去一胎化、
 我俩养上一个胖娃娃、
 要馍馍者我俩心劲大。
- 31.女:镰刀割了细叶麻、
 不是就把我引上蒙古下、
我们两个娃还没长大。
- 32.男:我把你引上上兰州、
 两个娃孕了我们过年走、
 你做生意我开店、
把你娃家老子永远常不见。
- 33.女:洮州杨家土儿北山、
 我叫荨麻等两年、
 现把两个娃么分离难。
- 34.男:红心柳的三张杈、
 我也向观众给你说一挂、
只要你成了我把你引着
 马坞的新寺下。
 新寺马坞出大米、
 去了要拿工资的干部比、
那会儿我多不茶障会养活你。
- 35.女:剪子要较鞋样呢、
 拿上衣裳新疆城下呢、
我的两个娃给谁依靠呢。
- 36.男:尕手巾包冰糖、
 我把你引上上新疆、
 我这二年推的光阴不如人
我把你引着新疆棉花树、
去了害怕蚊子咬着招不住
 浑身咬成疙瘩了、
你眼前看不见你们阿大阿妈了。
- 37.女:去时提上布着呢、
 油就倒着住着呢。
- 38.男:大麻打下一条绳、
 我这二年推的光阴给你说不成、
 我们一没有窗子二没有门、
 进去是土炕泥火盆、
 捡下的酸刺儿扎着吹不成。

- 30 麻で縄を一本なう、
 僕は旦那さんとは一面識もないよ、
 旦那さんに言っておきなさい、
 花儿を歌う人と一緒に内モンゴルへ行くと、
 僕について行けば何も心配することはない、
 本当にそういう気があれば二人は一人っ子、
 とても元気な子どもを作ろう、
 たとえ乞食になっても二人は心をつにして頑張ろう。
- 31 鎌で細葉麻を刈り取る、
 あなたについて内モンゴルへ行く訳にはいかない、
 二人の子どもがまだ幼いからだ。
- 32 それなら君を蘭州まで連れていく、
 お子さんが小さくて心配なら来年にしてもいいが、
 君が何か小商売をし、僕は店を開く、
 旦那さんと絶対に顔を合わせることはない。
- 33 洮州楊家の土の北山、
 二年間待っていてくれないか、
 今はとても子どもから離れることはできない。
- 34 紅心柳で作られた先が四本のフォーク、
 僕も皆の前で君と約束する、
 君が同意さえすれば馬場か新寺まで連れていく。⁽¹³⁾
- 新寺・馬場という所は米が取れるところだ、
 そこへ行ったら僕を給料取りの幹部と比べないでくれ、
 僕はどんなに苦勞しても君をそこで養う。
- 35 剪刀で靴の紙型を切る、
 着替えを持って新疆まで行こうか、
 でも私の二人の子は誰に頼って生きていくのか。
- 36 小さなタオルに氷砂糖を包む、
 君を連れて新疆に行こう、
 僕はこの二、三年生活が苦しくて人には及ばない。
 僕は君を連れて新疆へ棉摘みに行こう、
 ただそこで蚊に刺され君が耐えられないのが心配だ、
 蚊に刺されて体中が腫れたら、
 君が両親のことを思うことができないほど痒くて仕方ないだろう。
- 37 布を持って行こう、
 油も持って行ってそこに住み着こうか。
- 38 麻で縄を一本なう、
 この二、三年僕の生活は言葉で表わせないほど苦し
 かった、
 家には窓もなければドアもない、
 家に入ったら目につくものといえばオンドルと火鉢
 しかない、
 薪の酸刺兒は刺があるので燃え立たせるために吹こ
 うとしても吹きようがない。

心是郎的当着呢、
油就倒下凉着呢、
我们这会儿穷的没处去、
五月还穿毛裤呢、
十里腊月冻着炕上常捂着呢。

39.女:没吃没喝你耍愁、
谁家富着没喝油。

40.男:锄头挖了楞干了、
出门把你们都见了、
人家都活成强汉了、
吃开优等粉的白面了、
青稞面杂粮不见了。

41.女:镰刀割下蔓着呢、
我活得稀不茶障呢、
日子阿么过着呢、
活得连娃们要馍馍着呢

42.男:三升胡麻一榨油、
穷难日子你耍愁、
谁家富着没喝油。
我们穷人穷是穷惯了、
上户穷了没干了。

43.女:二细草帽打软呢、
说下吃穿靠你呢、(姐)
要了是啥见面呢、

这会儿你怕抓空儿呢。

44.男:麻把刺儿上雀的挂、
闲里闲话打整过、
先把想下我的说。

45.女:我把想人不会想、
见了旧家眼泪淌。

46.男:风刮杨柳树摆呢、
我想你头摇身摆呢、
眼泪像飘洋过海呢。
飘洋过海韩湘子、
先前说下薶到死、
你这会大豆结了籽。
大豆结籽结得利、
你把我比是种当归的二亩地、
种上两垄垄你再去。

47.女:洮河沿上水涝洼、
只要你把主意胡耍打、
我连你黑头发薶成白头发、
我俩眼睛仁薶得蓝花花。

この貧しさを楽しむほかはないと思うのだが、
油も切れたほど生活がほんとうに切羽詰まっている、
僕の家は貧しくて出掛けることさえできない程だ、
もう五月なのにまだ毛糸のズボンをはいている、
真冬にはズボンが薄くてオンドルの上に座って温めるしかない。

39 食べ物と飲み物がなくても心配ない、
金持ちの家だって油をそのまま飲む事はない。

40 鋤で段々畑を掘る、
出掛けてきて皆に会った、
周りの人は皆生活が豊かになって、
質のいい小麦粉を食べようになった、
裸麦と雑穀は日常生活から消えた。

41 鎌で蔓を刈った、
私は本当にみっともない生活をしている、
生活は続けられそうにない、
わが子まで乞食生活を強いられている。

42 三升の胡麻で油を搾る、
貧しい生活を心配することはない、
金持ちの家だって油をご飯にすることはない。
われわれ貧乏人は貧しい生活に慣れている、
かえって金持ちが落ちぶれたらどうしようもないさ。

43 二細の麦藁帽子がとても柔らかい、
着るものも食べるものもあなたに任せ、(姉)
欲しいものは何でも今度会うとき持ってきてくれる
と約束したのに、
この調子では約束を破る気だろう。

44 麻把刺儿の上に雀が止まっている、
余計な話は抜きにして、
僕を思う気持ちを言ってみろ。

45 私はそんな言葉が言えないよ、
腐れ縁のあなたに会って熱い涙が目に溢れる。

46 楊柳が風になびいている、
君のことで頭が一杯で体もふらふらする、
涙がぼろぼろこぼれっぱなしだ。
海を渡った仙人の韓湘子⁽¹⁷⁾のようだ、
前は死ぬまで付き合おうと誓ったではないか、
君は今いっぱい実った蚕豆⁽¹⁸⁾のようだ、
実がたくさんなっている収穫だ、
僕のことを当帰⁽¹⁶⁾を栽培する畑のように扱ってくれ、
二畦ぐらいの畑仕事をしてから去って行ってもいい
ではないか。

47 洮河の岸にある冠水した低地、
あなたさえ移り気な人でなければ、
白髪が生えるまで付き合っあける、
目の色が青くなるまで付き合っあける。

- 48.男:石头打了老鸦了、
我这儿把你瓜了、
多脑想成苦瓜了、
头发想成草把了、
茶障得没人找扎了。
- 49.女:我这就为你像跑马、
我把地下踏得没长草、(姐)
这会儿多旱干不好。
- 50.男:青石碌碌扎场边、
你口口说有我红燃、
我这儿被困两郎山。
你口口常说你有金两连银珠呢、
我这儿的身子还道悬住呢。
- 51.女:剪子铰了纸样着、
你连毛毛雨一样、(姐)
我迟早落着你身上。
- 52.男:白杨条框谷子门儿、
只要我把你心上疼、
瞅年青着离婚不可能、
只等老了儿家都走成。
- 53.女:枇杷雕了谷子门儿、
我想要丢你万不能、
只等我俩老了走不成。
- 54.男:斧头剁红桦着呢、
我这儿去是去不下着呢、
单等你一声话着呢。
琉璃瓦上晒花椒、
花椒不晒籽儿不落、
你不开口我难说。
- 55.女:河里淌的烂木头、(姐)
把你丢不丢万不丢。
若要把你丢了手、
只等河干石头朽、(姐)
山里鹿羔变成狗、
场里大麻长成柳。
- 56.男:手拿斧头剁红桦、
唱花儿行里没实话、
这会儿我心里七股八棵杈、
你把实心扯着阿一下。
- 57.女:剪子铰了纸样了、
把心扯着你看了。
- 58.男:大麻打下一根绳、
把你当面不疼背过疼、
想下你的走不成、
擦脸的手巾是干证。

- 48 石が烏に当たった、
今は君が恋しくて頭が変になった、
つらくて頭が苦瓜になったかのようだ、
髪の毛もかたまっていて、
皆に馬鹿のように扱われてだれも相手にしてくれない。
- 49 私はあなたのために走り回っている馬のようだ、
草も生えないほど地面を踏みしだいた、(姉)
いつまで経っても仕事がうまくできない。
- 50 石のローラーで脱穀場の地ならしをする、
君は僕がもてもてだと言ひ張る、
実は僕はいま两郎山で苦しい立場に落ち込んでいる。⁽¹⁹⁾
君はよく金銀を持っていると言っていたではないか、
このさき僕はどうか危^{あぶ}なかしいもんだ。
- 51 剪刀で靴の紙型を切る、
あなたはこぬか雨のようだ、(姉)
いつかあなたと一緒に⁽²⁰⁾なる。
- 52 ポプラで作られた門の縁に穀物の絵柄が彫刻してある、
僕のことをずっと好きになってくれれば、
若いうちに離婚できなくても、
年をとったらまた二人の恋を続けよう。
- 53 枇杷の木で作った門の縁に穀物の絵柄が彫刻してある、
あなたと別れることはとてもできない、
あなたが言ったように老後にまた恋を続けよう。
- 54 斧で紅樅を伐る、
今は君のもとから去ることはとてもできない、
君の約束を待っている。
琉璃瓦の上で山椒を干す、
山椒は干さないと実がとれない、
君が口を開いてくれなければ僕は⁽²¹⁾どうも話しぶらない。
- 55 川の中に朽ちた木が横たわっている、(姉)
絶対あなたと別れはしない。
あなたと別れる日は、
川が枯れて石が朽ちる、(姉)
山の中の子鹿が犬になる、
脱穀広場の大麻が柳になる。
- 56 手に斧を持って紅樅を伐る、
君が言ったのは嘘だろう、
今僕の心は込み入った木の枝のように乱れている、
君のまごころはいったいどこ⁽²²⁾のどいつのところに
あるのか。
- 57 剪刀で靴の紙型を切る、
私のまごころはあなたに見せたでしょう。
- 58 麻で縄を一本なう、
人前では君を可愛がらないふりをしている⁽²²⁾ただ、
君が好きでこの場を離れたくないほどだ、
顔を拭くタオルはその証明になる。

- 59.女:十里五里蜘蛛网、(姐)
想你一日没还阳、
手拄干棍身靠墙、(姐)
想得骚吗想得慢、

舍口散汤没心咽。
60.男:汽车拉下一车话、
想你日天满炕爬、
三天水含没打牙、
四天喝了一杯茶。
61.女:木匠做下柜着呢、
叫你想成病着呢、
想你到炕上睡着呢、
吃不成者喂着呢、

男人急得当下害下病着呢。
62.男:叫你把我想成憨病了、
亲戚朋友们都把我看来了、
我说你们都要看、
我是想下我们花儿的三句半。
63.女:这会儿阳婆跌下了、
不去不由个家了。
64.男:你今儿个去了明早来、
要等三月桃花开、
你说是来了不来了、
唱花儿行里哄开了。
- 59 十里五里蜘蛛の巣、(姉)
あなたのことを思って死にそうだ、
杖をついて壁に凭れる、(姉)
こんな状態になった私はあなたのことを思っていない
と言えるのか、
スープだって口に含んで飲み込む力もない。
60 君に話したいことは車に載せきれないほどある、
昼間は君のことを思ってオンドルの上を這い回る、
三日間も水を一滴も飲まなかった、
四日目になって初めてお茶を飲んだ。
61 大工がタンスを作っている、
あなたのことを思って病気になってしまった、
あなたのことを思ってオンドルで寝た、
自分では食事さえもできなくなって人に食べさせて
もらっている、
旦那も病気になるほど私を心配している。
62 君のせいで僕は恋煩いになった、
親戚も友達もお見舞に来てくれた、
僕は何もお見舞するほどの病気ではないと言った、
花儿を歌う相手を手に入れることができなかっただけだ。
63 今は日が沈もうとしている、
帰らなければならない時が来た。
64 今日帰ってもいいけれども明日ぜひ来てください、
桃の花が咲く三月まで僕を待たせるな、
君は来ると言って結局来ない、
花儿を歌う僕を騙すのさ。

※音声からの文字化は戚曉萍が担当し、日本語訳は張蠡が担当した。

〔注〕

- (1) ここに「親戚」とあるのは凡例にあるように対歌開始の前に「远亲戚」といった称呼語を使って女性が独唱していたからである。
- (2) 「酸刺」は植物名。トゲがある(38男歌詞参照)。
- (3) この句は、新しい彼女ができただろうが私のことを忘れないで、の意。
- (4) ここで飲料を歌っているのは、このとき側の人が男性歌手にペットボトルを差し入れたからである。
- (5) ポプラの木で男性の姿勢の良さを喩えている。
- (6) 「線木香」は植物名。松の枝という。
- (7) 「刺木香」も植物名。柏の枝という。
- (8) この句、地名。
- (9) 「三人」と歌っているが、女性歌手は姉妹の二人だけである。
- (10) 「杈」は、草やわらなどを積み上げる農具。「一张杈」は先が二本になっているもの。
- (11) 「楞干」は、傾斜地の畑をさす。
- (12) 二十八星宿の一つ。
- (13) 「新寺」「馬場」は、いずれも地名。
- (14) 「心是郎的当着呢、油就倒下凉着呢」という句は前後の流れからすれば「你们多不攘着呢、金银倒下梁着呢(お宅は豊かな家で、金銀いっぱい持っている)」の誤りだろう。(戚晓萍)
- (15) 「蓼」は、植物名。
- (16) 「麻把刺儿」は、木の名前だという。
- (17) 中国民間信仰における八仙の一人。
- (18) 「当帰」は、薬草の名。
- (19) 「两郎山」は、岷山の二郎山ではない。ここの歌詞は地方劇の台詞を借用している。
- (20) いつか畑仕事の途中、突然の雨で、雨宿りを強いられる。それであなたと一緒にになれる、という意味。
- (21) ここで女性の歌い手に沈黙があったわけではない。男性歌手の創作である。
- (22) 第二句目は、裏に、二人だけの時は可愛がってやるよ、の意味がある。